

ジェンダーギャップって何だろう

まちや企業が消えるかもしれない大問題

「ジェンダーギャップ」この言葉をご存じですか？私たち一人ひとり、そして地域や企業にとって重要なキーワードです。全国に先駆け、地域のジェンダーギャップ解消に取り組まれてきた兵庫県豊岡市の元市長 中貝宗治さんと立教大学名誉教授 萩原 なつ子さんを能代市にお招きし、「大問題」解決のための実践に学びます。



元兵庫県豊岡市長
(一社)豊岡アートアクション理事長
中貝 宗治 氏



コーディネーター
立教大学名誉教授
萩原 なつ子 氏

中貝宗治氏 経歴

1954年生まれ。兵庫県豊岡市出身。京都大学法学部卒業。大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻前期課程修了（兵庫県から派遣）。兵庫県職員を経て、兵庫県議会議員（3期）、豊岡市長（5期）。コウノトリの野生復帰、インバウンドの促進、深さを持った演劇のまちづくり、ジェンダーギャップ解消等に注力。

2021年から一般社団法人豊岡アートアクション理事長。2022年から福知山公立大学客員教授。

萩原なつ子氏 経歴

お茶の水女子大学大学院修了。博士(学術)。(公財)トヨタ財団アソシエイト・プログラムオフィサー、宮城県環境生活部次長、立教大学教授、(独)国立女性教育会館理事長等を歴任。山梨県顧問、公益財団法人ミダス財団評議員、認定特定非営利活動法人日本NPOセンター顧問、兵庫県豊岡市多様性・ジェンダーギャップ対策課地域啓発アドバイザー。2014年「消滅可能性都市」に指定された東京都豊島区で子育て世代や働く若い女性の視点でのまちづくりの政策提言を行った「としまF1会議」座長。各地でジェンダーギャップ解消、若者・女性の流出問題等に関わる事業に携わっている。

2026
10/29

14時～16時 **木**

会場 能代山本広域交流センター
(能代市字海詠坂3番地2)

講演：中貝宗治氏
パネルディスカッション：中貝氏、
協会役員、コーディネーター萩原氏

ジェンダーギャップ (Gender Gap)

「男は仕事」「女は家庭」といった社会でつくられた固定的な性別役割分担意識から、政治・経済・社会のさまざまな分野で生じる男女間の格差のこと。

あきたジェンダー・アクション推進事業

地域や企業の実情に応じたジェンダーギャップ解消に向けた取組を行い、誰もが自分らしく暮らし働くことができる環境づくりを推進するため、県内3市において県と市が協働で理解促進セミナー等を実施している。

参加対象：能代山本雇用開発協会 会員

能代山本内の企業経営者、人事担当者
本講演に興味のある方

申 込：TEL 0185-52-6344

FAX 0185-55-2233

QRコードから →

(担当：杉本、山内)



2026年10月29日 (木)開催

能代山本雇用開発協会講演会

FAX 0185-55-2233

事業所名 (機関名)			
所属・役職		参加者氏名①	
所属・役職		参加者氏名②	
所属・役職		参加者氏名③	
E-Mail		電話番号	
その他 事前の連絡事項 などありましたら ご記入ください			

スマホからもお申込みいただけます



お問い合わせ

能代山本雇用開発協会
(担当：杉本、山内)



0185-52-6344



n-koyokaihatu@shirakami.or.jp